



図書だより

No.3

上峰中学校

図書室

令和7年6月発行

「本をたくさん読もう！」

◎二十四節気

芒種(ぼうしゅ) (6月5日ごろ)

梅雨入り前で、芒(実の外殻の毛がある穀物)を植え付ける忙しい時期です。

夏至(げし) (6月21日ごろ)

北半球ではこの日に昼の長さが最も長く、夜が最も短くなります。

これからの季節は雨の日が多くなり、室内で過ごす時間も多くなりますね。図書室で過ごす生徒さんも増えると思います。普段読まないようなジャンルの本を読んだり、友だちから紹介してもらった本を読んだり、たくさん本に親しんでみて下さいね。



雨が多くなる季節です。カバンの中などに入れた本がぬれたりしないように気をつけて下さい。

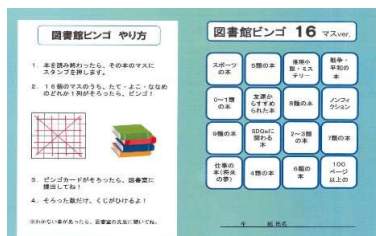


お知らせ

6月の図書室では「**本でビンゴ**」を開催します。借りる本の背表紙にある「分類番号」で縦・横・ななめにスタンプを揃えたら、ビンゴが完成です。完成したビンゴの数によって賞品がもらえます。

期間：6月23日(月)～6月30日(月)

※用紙は図書室にあります。



青少年読書感想文 コンクール推薦図書



「わたしは食べるのが下手」
天川栄人||著
小峰書店



「スラムに水は流れない」
ヴァルシャ・パシャージ||著
あすなろ書房



「鳥居きみ子：家族とフィールドワークを進めた人類学者」
竹内紘子||著
くもん出版



読書感想文の書き方のヒント



◆自分にあった本を選ぼう！

感想文は「本選び」がとても重要です。自分がおもしろいと思うことが書いてある本を見つけましょう。周りの人におすすめの本を教えてもらったり、図書館の方などに教えてもらうのもいいかもしれませんね。

◆本を読んで理解しよう！

本が決まったら、さっそく読んでみましょう。感想文には本を読んで一番心が動かされたことを書きます。1回目はだいたいの感想をつかみながら読んでいきます。できれば、メモをしておくといいでしょう。2回目は気になるところを立ち止まって読みながら、ふせんなどにおもしろいところや、かなしいところ、腹が立ったところなど、伝えたいと思うことがらをどんどん書き込んでいきましょう。そして、3回目はふせんをはったところを中心に読んで、自分の考えを確かめていきましょう。

◆じっさいに作文を書いてみよう！

感想文を書くときに一番大事なものは、書き出しです。書き出しのコツは6つあります

- ①本を読んだ感想から書く
- ②本を読んだきっかけから書く
- ③本を読んで自分も同じような経験をしたことがあったら、そのことから書く
- ④会話から書き始める
- ⑤自分が疑問に思ったことから書き始める
- ⑥本を読んで一番心に残った場面の文章を使って書く

図書室にも感想文の書き方の本があります。

メモしたふせんなどを使って文の組み立て表を作り感想文の流れを考えましょう。

※「上手な感想文」よりも「よい感想文」をめざしましょう！よい感想文とは、本を読んだ感動したことを素直に、自分の言葉で書いたものです。